



学問を極めるために博士課程へ。生みの苦しみを味わった論文執筆奮闘記



放送大学 教養学部 選科履修生(千葉学習センター)／篠崎 一成氏

今回インタビューを行った篠崎氏はこの春、念願の大学院博士課程を修了した。篠崎氏に、博士論文を執筆していた頃の苦労話や現在の心境を聞いてみた。

民法改正をきっかけにリカレントを決意し放送大学大学院へ

法学部出身だった篠崎氏は明治時代に制定された民法(債権法)が大改正されるのを聞き、「もう一度法律を学び直したい」と通信制大学を探した。そこで地元・千葉にある放送大学を知り、開講項目の豊富さにひかれて、2012年10月に「修士選科生」として入学した。修士選科生は1年かけて修士課程を履修するコース。篠崎氏は選科生として入学し、2014年4月からは修士号取得を目指す「修士全科生」に進んだ。

「そこから2年で修士課程を無事に終えたのですが、どうも私の中で納まりがつかなかったんですね。博士というステージへの憧れもあったかも知れません」。

2016年3月に修士課程を終えた篠崎氏は、博士課程への挑戦を決意した。



1年の準備期間を経て博士課程へ。仕事と博士論文に追われる生活

放送大学の博士課程は、1年に10名ほどしか進学できないほどの狭き門。篠崎氏の専攻していた生活健康科学プログラムの進学倍率は15倍ほどであったため、1年の準備期間を経て2017年4月、博士課程に進学。それは同時に、仕事を続けながら3年間で博士論文を書き上げるという過酷な学生生活の始まりでもあった。

「土曜日になると国会図書館にこもって先行研究を片っ端から調べていました。先行研究を見るというのは、私の論文テーマがどう論じられてきたかを確認する作業です。先人たちの考えから執筆のヒントをいただくこともありますし、研究内容の重複、いわゆるネタかぶりを回避する目的もあります」。

篠崎氏が論文のテーマに選んだのは不動産取引。宅地建物取引業者(宅建業者)と買主の双方にヒアリングを行い、さらには過去の文献を参考にしながら住宅取引にまつわる実情を論じたものである。国会図書館での先行研究リサーチで篠崎氏が目を通した文献、論文は、3年間で約250本にのぼった。

博士論文4要件という壁を前に、留年という大きな決断を下した

博士課程1年目から複数の学会に所属し、論文を発表しながら博士論文の準備も精力的に進めてきた篠崎氏。3年目の6月に予備論文を提出し、その審査を通過した学生だけ博士論文の執筆に取り掛かれるのが放送大学でのステップだ。12月に提出した本論文の審査(口頭試問)に通れば、晴れて博士課程修了となる。

3年目を迎えてもなお、論文の筋道が定まらない篠崎氏。論文指導教員の奈良由美子教授に相談すると、背骨の通った論文を心がけるよう指摘された。

「博士論文に必要な4要件(論理性・客観性・独自性・体系性)を満たしていませんよ、という事です。頭の3要件だけでいいのは修士論文までで、博士論文は体系性が重視されます。研究内容を章立てしてまとめていくのが論文執筆の基本的なセオリーですが、博士論文には各章を貫く背骨(軸)が必要。私の論文からは背骨が見えてこないとの指摘です。登山でいえば、山頂の位置は分かっているけど山の登山ルートが定まっていないうわけです」。

先行研究を踏まえ、自分なりの筋道を立てて山を登っていたつもりだったが、それは間違いだった現実。論文の背骨を練り直すとは、1年目から必死に集めた先行研究や文献のほとんどを捨てる事を意味していた。3年で書き上げるのは不可能と判断し、1年間の留年を願い出た。

指導教員のおかげで通過できた予備論文。突然の狭心症判明と手術

そして迎えた4年目。博士論文の指導教員は主査の奈良教授に加え、副査に坂井教授を迎え、鉄壁の2教員体制で予備論文提出に向けてのサポートが始まった。5月には論文の背骨もようやく見え、約200の宅建業者から戻ったアンケート回答の集計を始めた。平日は夜しか時間を充てられないため、夜中の2~3時まで机に向かうのが当たり前の生活に。そうした努力の甲斐もあり、6月の予備論文提出にぎりぎり間に合わせることができた。

「先生方から沢山のアドバイスをいただき、背中を強く押してもらえました。予備論文の審査を無事に通過できたときは、さあここからが本番だ!と身が引き締まりましたね」。

夏から本論文に着手していた篠崎氏だったが、10月になるとしきりに胸の奥が痛むように。寝不足が原因だろうと高をくくっていたが、それでも日々続く痛みに不安を覚えていた。11月に入ったら一度診察を受けよう。痛みを忘れるため、さらに論文の準備に没頭していった。

11月2日、ようやく休みの取れた篠崎氏は地元の病院でCT検査を受け、心臓の冠動脈が細くなっていると判明。病名は狭心症だった。

「放っておいたら命に係わるから、この後すぐに手術をしますと。まさか自分が狭心症なんてビックリしましたよ」。

すぐにステント手術を行い、翌3日に退院。再び論文の執筆に戻った。

「6月の予備論文の時期だったり、12月の本論文提出と重なったりしたら、もう退学するしかなかったでしょうね。あのタイミングでの手術は運が良かったとしか言えません」。

術後の経過は良く、胸の痛みも消えてさらに論文に集中できたことと振り返る篠崎氏。退院後は遅くとも深夜0時に寝るとルールを決め、12月の提出期限に向けて執筆を続けた。

念願の博士号取得!そして55歳の今、新たな挑戦を始めた



博士論文とともに。篠崎氏の胸元には、放送大学イメージキャラクター「まなびー」のピンバッジが光る。

2021年1月、オンラインで開かれた口頭試問。前月に書き上げた博士論文「住宅取引における宅地建物取引業者の機能と限界に関する研究」を発表する場である。画面の向こうに集まった教授、指導教官らを前に、4年間の研究成果を披露した。結果は合格。念願の博士号を取得し、修士課程から数えれば9年間にわたる放送大学での学びを終えた。

「私の研究テーマは、仕事と直接関係するものです。まとめた論文を業界や官界などの関係者に読んでいただき、不動産市場や業界の改善のための参考データにしてもらえたらと思っています」。



篠崎氏の博士論文は放送大学の公式サイトにて閲覧できる。

そして迎えた2021年度、篠崎さんは教養学部の選科履修生として千葉学習センターに通っている。博士論文を執筆するために集めた膨大なデータや原稿をもとに、新たな論文の執筆に取り掛かっているのだ。

「4年でだいぶ燃え尽きたという実感はあります。だけど、まだまだ学び足りないんですよ。博士課程でだいぶシャカリキになってやって来たから、久しぶりののんびり好きなことを学んでみようかなって。またいつか興味を持てる分野が見つかったら、とことん極めるつもりです」。

通信制大学として始まった放送大学ではオンライン授業を充実させ、2020年から続く新型コロナ禍においても学びに支障のない環境を整備。仕事をしながらのリカレント教育、定年後のセカンドライフを充実させる生涯教育の場として、幅広い年齢層の学生が思い思いの学生生活を謳歌している。



篠崎 一成/しのぎき・かずなり

1966年、千葉市生まれ。大学を卒業後、長年にわたり不動産業界で活躍。2012年10月、修士選科生として放送大学に入学し、2021年3月に博士課程を修了。同4月より選科履修生として在籍している。

(文 吉岡啓雄)

サークル活動(学生団体)に参加しよう

千葉学習センターでは、心理学、音楽、古典文学、語学、スポーツ、美術などをテーマに多くのサークルが活動しています。

通信制大学の学習は孤独になりがちだといわれますが、サークル活動に参加して共に学ぶ仲間を見つけませんか。

(裏面参照)

学生教育研究災害障害保険

- 学生教育研究災害傷害保険とは「加入者である学生が教育研究活動中に被る事故に対する保障を目的とした保険」です。
- 放送大学のすべての種類の学生が加入することができます。
- 保険金額は学生教育研究災害傷害保険が100円(6年間有効)です。通学特約はプラス40円(同)です。
- 放送大学で授業となるとあまり頻度は多くありませんが、ゼミへの参加や面接授業、そして研究のためのフィールドワークに資料収集など研究活動を広く行うことがあると思います。
- 加入を希望する方は、学習センター窓口へ学生証と保険料を添えてお申し込みください。

面接授業 実施時間

1時限	9:50 ~ 11:20
2時限	11:35 ~ 13:05
3時限	14:05 ~ 15:35
4時限	15:50 ~ 17:20



心理学 Psychology

カウンセリング研究会

<大学公認団体>

内容: 毎月の定例会ごと、単発のテーマを設定し学習。机上の学習だけでなく、演習を重視。また不定期で展覧会等の見学、座禅等の体験学習機会を設けている 活動日: 毎月1回日曜日14:00~17:00 会員数: 15名程度 会費: 年会費無し 連絡先: 福森 happyforest21c@gmail.com



心理臨床研修会

<大学公認団体>

内容: 創作コラージュ療法を中心に毎月定例研修会を開催し心理学の学びを深める一方、卒業まで仲間と語り楽しく学ぶ場を提供。ぜひ一度一緒に体験を! 活動日: 毎月第2日曜日及び第4土曜日に研修会 日曜日10:30~17:00 土曜日9:30~16:30 会員数: 約50名 会費: 研修会区分に応じた額 連絡先: 岡村 090-3475-7241 FAX: 050-3586-8773 t-okamura@dream.jp



外国文化 Foreign Culture

スペイン語友の会

<大学公認団体>

内容: 毎月の例会では、柳沼先生(神田外大・前副学長)によるスペイン語文法の特別講義、会員間での会話練習・小説の講読・スペイン語の映画鑑賞を実施しております 活動日: 曜日(現在未定) 13:00~17:00 会員数: 20名程度 会費: 入会金: 2,000円、参加費: 1回200円 連絡先: 末富 080-4095-5735 qui.suetomi@gmail.com



タンパク質紳士淑女録

内容: 木村千葉大学名誉教授を顧問として、健康及び病気について講義・自主発表・輪読の活動をしています。 活動日: 毎月第3水曜日14:00~16:30、現在はSkypeによるWebサークルを実施中 会員数: 13名 年会費: 1,000円 連絡先: 伊草 igs.oowada1121@ae.auone-net.jp



美術 Art



若葉スケッチ会

<大学公認団体>

書道クラブ 翠乃会

<大学公認団体>

内容: 活動目的: 書道の研鑽を通じて書への理解を深め、会員相互の親睦を図る。活動内容: 書の修練(楷書、行書、草書)中国の書跡・日中書道史の研究(臨書) 活動日: 原則、毎月第1火曜日9:30~12:00 会員数: 11名 会費: 三か月分 5,500円(教材費込み) 連絡先: 中山 mnk19230@tuba.ocn.ne.jp

内容: 野外に出掛けて、水彩画のスケッチを楽しみ、作品は、千葉学習センターに展示しています。年1回合宿旅行(2泊3日)でパワーアップ 活動日: 毎月第2土曜日10:00~16:00頃 会員数: 20名(うち女性11名) 会費: 年会費1,000円 連絡先: 石田 047-454-7304 yuchy_ishida@yahoo.co.jp

木彫会

内容: 木彫による仏像づくりをしています。日々のうつろいの中である日ふっと仏像を作りたいと思ったことはありませんか? ある女性の活動歴は4年目です 会員数: 7名 会費: なし 連絡先: 田中 090-8841-5700 ohta2@jcom.zaq.ne.jp



音学 Music



アンサンブル倶楽部 千葉合唱サークル(混声合唱)

<大学公認団体>

内容: 千葉学習センターラウンジにて年数回ランチコンサート。使用楽器リコーダー(ソプラノ、アルト、テナー)フルート、ピアノ、バイオリン等 活動日: 月2回(平日又は週末) 会員数: 10名 会費: なし 連絡先高橋: 080-5009-2400 内容: 田中・前島・菊池3先生の熱血指導の下、日本抒情歌曲・組曲・ポップス等を合唱、男性・女性の現役、主婦・シニアの方お待ちしております。コロナ収束後活動再開予定。活動日: 毎月第1、3日曜日13:00~15:30 会員数: 19名 会費: 2,500円/月 連絡先: 佐久間 sakuma1146@nifty.com

放送大学軽音楽

<大学公認団体>

内容: 毎月2日間セミナーハウス研修室、千葉学習センター講義室、千葉市コミュニティセンター等で練習をして、千葉学習センター秋祭り等で発表をしている 活動日: 毎月第1日曜日と適宜土曜日、日曜日、祝日の内の1日 12:00~18:00頃 会員数: 12名 会費: 半期2,000円 連絡先: 岡 oksunpiano@yahoo.co.jp 090-9366-7834



スポーツ Sport

テニスサークル

テイクバック

<大学公認団体>

内容: 両曜日とも、午前中は基本的練習(ストローク、スマッシュ、サーブ等) 午後は試合 活動日: 毎週水曜日、金曜日 9:00~16:00 会員数: 27名 会費: 月400円 連絡先: 国吉 090-1544-1912

テニス同好会 若葉

<大学公認団体>

内容: テニスの上手な方から、それなりの方まで、約1時間は真剣に練習、約2時間は和気藹藹の雰囲気の中でゲームをやっています 活動日: 毎週土曜13:00位~16:00位 会員数: 16名 会費: 年間1,000円 連絡先: 嶋田 masa.shimada50@gmail.com

テニスクラブ コスモス

<大学公認団体>

内容: 未経験者が多いですが楽しく練習しています。千葉県ソフトボール協会の3部リーグに加盟式のプレーを行います。まして春と夏の公式戦や他チームとの練習試合の親睦と体位の向上を合もあります 活動日: 毎週土曜日と日曜日、10:00~12:00 会員数: 18名 日会員数: 28名 会費: 年会費2,000円 連絡先: 菅藤 先: 岡部 okakatu3@yahoo.co.jp

古典 Classic

日本の詩歌を楽しむ会

<大学公認団体>

内容: 百人一首と美しい日本の詩(近・現代詩)の朗読をテープで聞き和歌では解説を各自発表。美しい日本の詩は(古典和歌・近代短歌近世俳句・近代俳句)へと進め、かるた会や文学散歩もします。 活動日: 毎月第2・第4水曜日13:30~15:30 会員数: 12名 会費: 年会費1,000円 連絡先: 大部 TEL: 090-8088-8125 E-mail: obu.sachiko@gmail.com



古文書を読む会

<大学公認団体>

内容: 近世の武士日記を題材に古文書講読を行います。文章内容が率直で面白く挿絵も楽しめ又歴史資料としても貴重なものです。他に「江戸歩き」日記の現場検証や日記を書いた武士の地元調査などを行います。写真は神楽坂から四谷見付までを探索した際のものです 活動日: 毎月2回(第一・第三火曜日)に講読会 月1回(適時)に「初心者会」など 会員数: 約20名 会費: 入会金1,000円 会費1,000円/月 連絡先: 野口 090-1464-4501 akira.noguti@honey.ocn.ne.jp

コミュニティ Community

海洋クラブ

<大学公認団体>

内容: 海の楽しさを紹介します。クルージング、SUP、海釣り、料理教室、南房総マリナー宿泊、勉強会等 活動日: 月1回以上=事前に活動計画をお知らせします 会員数: 15名(内女性2名) 会費: 3,000円/年 活動によって別費用あり 連絡先: 木下 tesshu@au.wakwak.com



シニアライフ研究会

<大学公認団体>

内容: 毎回担当会員が1時間前後のプレゼン、その後白熱の討論(古今東西、森羅万象を議論する楽しく愉快で有益な会)他に経済研究会など分科会開催 活動日: 毎月第一月曜10:00~16:00 会員数: 21名 会費: 2,000円/年 連絡先: 鳥羽 htoba@green.ocn.ne.jp

囲碁クラブ

<大学公認団体>

内容: 対局を主体とし初心者には個別に指導 活動日: 毎週木曜日 会員数: 21名 会費: 年会費1,000円 入会金1,000円 連絡先: 桑原 masatkuw@mtj.biglobe.ne.jp

千葉コンピュータユーザーズ

<大学公認団体>

内容: パソコンの知識と操作技術の向上を目指し、日々努力と研鑽を積んでおり、パソコンを通じ充実した時間を楽しむと共に会員相互の親睦をはかること 活動日: 月2~3回(13:30~15:30) 会員数: 12名 会費: 年間6,000円(6ヶ月: 3,000円) 連絡先: 中込 043-278-5126 y-nakagome@rose.plala.or.jp

